

## 評価委員会 中間評価結果

事業名	次世代がん医療加速化研究事業	
課題管理番号	24ama221001h0003	
研究開発課題名	次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率的推進マネジメント	
研究開発 代表者	所属機関名	公益財団法人がん研究会
	部署・役職	顧問
	氏名	野田 哲生
実施期間（全研究開発期間）	令和 4 年 5 月 2 0 日 ~ 令和 7 年 3 月 3 1 日 (令和 4 年 5 月 2 0 日 ~ 令和 1 1 年 3 月 3 1 日)	

### 1. 本課題の概要

次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE）の推進をサポートするため、マネジメントユニットと技術支援ユニットで構成される研究推進サポート機関を組織した。各ユニット内、並びにユニット間の密接な連携体制を構築し、PS・PO、AMED 担当課の指示の下、各研究開発課題の進捗管理のサポートや高度な専門技術による重層的な研究支援を行うことで、本事業の機動的かつ円滑な運営への貢献を目指している。マネジメントユニットは、「研究進捗の整理」、「知的財産コンサルテーション」、「研究倫理コンサルテーション」及び「その他のサポート」を担当し、技術支援ユニットは、支援課題の POC 取得を目的とした 1) 分子標的候補の検証のための技術支援、2) ケミカルバイオロジー評価のための技術支援、3) 抗体及び機能阻害ペプチド作製のための技術支援、4) 化合物の最適化・合成展開のための技術支援、5) 創薬シーズ化合物の薬効評価のための技術支援、6) 薬物動態イメージング・DDS 化のための技術支援、7) 単一細胞マルチオミクス解析のための技術支援、8) バイオリソースを活用した幅広い技術支援を実施している。さらに、調整費を活用し、支援のための生体試料の保管体制強化やその検索システム等の高度化を図るとともに、1 細胞レベルでの空間オミクス解析やプロテオミクス解析の最新機器を導入し支援の高度化を図った。また、 $\alpha$  線放出核種製造、 $\alpha$  線治療薬の合成とその有効性評価に必要となる実験室・実験機器の整備を進め、ラジオセラノスティクス開発のための技術支援体制を強化した。これらを通して、マネジメントユニットと技術支援ユニットが有機的に連携することで研究代表者の研究開発の進展に大きく寄与した。

### 2. 総評

#### ① 研究体制について

研究推進サポート機関としてマネジメントユニット及び技術支援ユニットを組織し、有機的な連携のもと、求められる支援機能を整備するとともに、各研究開発課題の進捗管理のサポートや研究に必要な専門技術の提供による重層的な研究支援を行うことで、次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE）の機動的かつ円滑な運営に貢献している。

#### ② システムやインフラ等の整備・活用について

文書管理 Web を活用した情報管理体制の構築により、採択課題の研究進捗と関連文書を効率

的に一元管理し、PS・PO 及び AMED との円滑な情報共有を実現している。また、調整費を活用して研究設備の高度化を進め、シングルセル解析装置や空間オミクス装置、 $\alpha$ 線放出核種の製造設備など、高度がん研究推進に不可欠な基盤の整備を行った。

③ 全体を通じて

すべての課題について、進捗管理、知財・研究倫理、コンサルテーションに対応するとともに、該当研究機関の有するハード・ソフトのリソースを活用し、多くの課題に対して活発な技術支援を実施し、本事業の目的と役割を十分に果たしていると評価できる。この活動が、がん医療の実用化をさらに促進することが期待される。

3. 改善が必要な事項

① 研究体制について

技術支援ニーズに関する事前アンケート調査に加えて、事後のフィードバックに資する調査が必要ではないかと考える。当該調査を実施することで、次世代がんあるいは AMED にこれまでの技術支援に関する成功事例や失敗事例が蓄積されることとなるため、今後の事業運営に有用となることに加えて、アカデミア研究者にも共有することでより効率的な支援の実施に繋がるものと思われる。

② システムやインフラ等の整備・活用について

空間オミクス解析や RI 放射性医薬品に関連するサポートについて、さらなる整備・強化が期待されるが、調整費を利用して導入した最新の研究設備による具体的な支援の成果が明確になることが期待される。

③ 全体を通じて

3年間の中間評価ということもあり、特許出願や企業導出の成果が限定的であった。支援は非常に優れてはいるものの、支援班の評価は通常の課題評価とは異なり、具体的なマイルストーンなどが設定されていないことから、今後の評価にあたっては、被支援研究者からのフィードバックなどを含め、何らかの指標となるものを検討する必要があるとのコメントがあった。